

**一般社団法人日本機械学会
顕著事業表彰 過去受賞者リスト**

2017/6/7現在

受賞年度	受賞回	受賞種別	受賞者名	会員 会員外	所属機関(所属しなかったら、空欄)	受賞業績名	受賞理由	応募 件数
2004	第1回	貢献賞	駒田 泰英	6100141	東京大学 名誉教授	発電用設備規格委員会の初代委員長として、民間自主規格の方向付け、規格作成の貢献され、維持規格2010年版、設計規格2011年版作成において指導的役割を果たされた功績	機械学会発電用設備規格委員会の立ち上げ(初代委員長)と同委員会における原子力・火力民間規格策定における指導的役割を果たし、規格策定の必要性を社会に理解させることに多大の貢献	10
2004	第1回	貢献賞	田村 章義	5104249	東京工業大学 名誉教授	標準化部会JISB0153「機械振動、衝撃用語」改正原案作成分科会主席 標準化部会JISB0905「回転機械の約合良さ-剛性ロータ」改正原案作成分科会主席	1960年代後半のISO/TC108関連国内活動の立ち上げ(約合良さ試験研究会幹事、会長)から長期にわたる国際規格策定への貢献と指導的役割	
2004	第1回	貢献賞	堤 正臣	7116446	東京農工大学 大学院 教授	工作機械分野におけるJIS規格原案作成等の標準化活動の推進・牽引	20年の長きにわたり、(社)日本工作機械工業会の標準化推進委員会委員長として50年の工作機械関連JIS規格の原案策定に尽力	
2004	第1回	貢献賞	宮野 廣	7224401	三菱フシコ株式会社 執行役員	日本機械学会発電用火力設備規格の日本電気技術規格委員会による技術基準適合性の承認	機械学会発電用設備規格火力設備規格の省令適合性承認を実現させ、民間規格の認知獲得と地位向上に尽力	
2004	第1回	国際功績賞	染谷 常雄	6612821	東京大学 名誉教授	我が国の滑り軸受に関する標準化活動の飛躍的発展への寄与	すべり軸受のISO規格、JIS規格策定と幹事国引き受け、新委員会の設置などの国際貢献を通じたわが国の地位向上に尽力	5
2004	第1回	国際功績賞	三輪 修三	5205833	青山学院大学 名誉教授	標準化活動母体(つりあい試験研究会、機械学会内ISO/TC108国内調査班)の設立と発展に寄与 ISO/TC108の指導的役割(国際会議への多数回の出席、日本での2度の国際会議の開催'82東京、'91神戸) 機械振動関連規格の国内技術者への周知・普及への貢献	1960年代後半のISO/TC108関連国内活動の立ち上げから長期にわたる国際規格策定への貢献と指導的役割	
2005	第2回	貢献賞	岩室 卓三	6801812	関西大学 教授	ISO標準化事業、日本機械学会規程作成および国際規格に従う資格認証制度構築	長年に亘りISO活動(ISO/TC108)に取組み、多数の規格策定に多大な貢献をしたほか日本機械学会の基準策定及び資格認証システム構築にも貢献した。	6
2005	第2回	貢献賞	渡部 修	7510585	筑波大学大学院 教授	「日本機械学会発電用原子力設備規格策定への貢献」 原子力の法令改定(性能規定化)の動きに伴い、国の重要である民間規格の迅速なる整備という急務な状況変化の中で、(原子力専門委員会)委員長として規格の策定、体系的整備をリードすると共に、「標準事業部会」部会長として普及活動を通じ、民間規格策定における日本機械学会の認知および地位向上に多大の貢献	原子力専門委員会委員長として日本機械学会の基準策定に貢献し、標準の普及にも貢献した。	
2005	第2回	国際功績賞	笠原 又一	6303163	オイスカ工業(株) 常務取締役	(社)日本機械学会ISO TC123平軸受国内委員会幹事としての活動 ISO/TC123(滑り軸受)新規に獲得した分科会SC6(用紙及び共通事項)の国際幹事としての活動 学会委員会等を支援するための「日本滑り軸受標準化協議会」の設立と常任幹事としての活動	ISO/TC123/SC6の国際幹事として会議の運営に尽力し、国際規格14件の修正提案の他に6件の新規提案を行った。	6
2005	第2回	国際功績賞	松下 修己	6175190	防衛大学校 教授	ISO TC108/SC2/WG7磁気軸受プロジェクトにおけるコンピナ活動	ISO/TC108/SC2/WG7において、磁気軸受プロジェクトのコンピナ活動に取組み、国際標準化プロジェクトのリーダーを務め、三つの国際規格を完成段階に導いた。	
2006	第3回	貢献賞	小野 宏右	6202692	日立製作所 技術顧問	フレキシブルディスクと機械振動・衝撃のJIS原案作成と国際標準化の推進	ISO/TC108振動と衝撃のJIS原案作成と国際標準化の推進	4
2006	第3回	国際功績賞	齋藤 格	7210949	日本原子力技術協会 部長	ASME(米国機械学会)規格委員会との交流とASME規格内容変更の日本の規格への反映	原子力発電プラントの規格化についてASMEとの交流及びASME規格内容の日本の規格への反映に貢献した。	1
2007	第4回	貢献賞	木村 文彦	8619081	東京大学 教授	CADのデータ交換の国際標準化であるSTEP規格の開発と普及に関する貢献	CADのデータ交換の国際標準化であるSTEP規格の開発と普及に貢献した。	5
2007	第4回	貢献賞	黒川 淳一	6807824	横浜国立大学 教授	水力機械に関するISO、IEC、JIS、ASME規格の改訂原案作成委員会、主席および審議委員として原案取組めと有効活用貢献	ポンプ、水車に関する国際、国内規格の制定に寄与し、また国内での普及と工業上の貢献をした。	
2007	第4回	貢献賞	畑目 春樹	6923052	東京大学 教授	日本機械学会基準S012、S017の制定における中心的役割と2003～2005年発電用設備規格委員会委員長として発電用設備規格制定に指導的役割を果たされた功績	本学会の該当分野の規格制定の中心的役割と発電用設備規格委員会委員長として規格の制定を行い本分野の規格の普及に貢献した。	
2007	第4回	国際功績賞	服部 修次	7118105	福井大学 教授	眼鏡フレームに関する標準化事業	眼鏡フレームの国際規格の制定及び国内JIS規格の制定に寄与し、地場産業の普及に多大の貢献をした。	5
2008	第5回	貢献賞	上野 滋	8325836	機械振興協会 理事	金属加工工作機械の性能向上に関する工業規格制定	長期にわたり国内・国際両面において、ものづくりの基盤分野である工作機械技術の標準化に広く貢献され、数多くの規格審議・策定に関わり、機械産業の業界への普及に尽力された。	3
2008	第5回	貢献賞	藤下 正樹	9728605	日本原子力研究開発機構 ユニット長	発電用設備規格委員会、原子力専門委員会の委員長として発電用原子力設備規格の策定発行に貢献 米国機械学会原子力規格理事会の正式メンバーとして原子力規格高度化における日米協力に貢献	日本機械学会標準・規格ワーキングの発電用設備規格委員会、原子力専門委員会において、指導的役割を果たし、多くの発電用設備規格制定に大きく貢献された。また、ASMEやNDEPの規格開発活動においても活躍されている。	
2008	第5回	国際功績賞	岡本 裕	9928353	大同メタル工業(株) 部長	ISO/TC/SC幹事国取得の活動、ISO原案の作成及び日本規格の推し進めアジア太平洋地域における国際標準化活動支援	日本機械学会のISO/TC123国内委員会において先導的に活躍するとともに、ISOにおいてはTC123/SC60設立を主導し国際幹事に就任するなど、日本が主導するTC123の国際標準化活動に顕著な功績をあげてこられた。	4
2008	第5回	国際功績賞	福田 好剛	8024456	法政大学 教授	生産システムの情報統合化に関する国際標準化活動への貢献	長年にわたり競争の激しい産業オートメーション分野において、その国際標準化に関してリーダーとして積極的に取り組まれ、わが国の国際貢献度の向上に顕著な業績をあげてこられた。	

**一般社団法人日本機械学会
顕著事業表彰 過去受賞者リスト**

2017/6/7現在

受賞年度	受賞回	受賞種別	受賞者名	会員 会員外	所属機関・役職(なし)・学歴	受賞業績名	受賞理由	応募 件数
2009	第6回	貢献賞	Nincher Gregory	会員外	Program Manager, National Electrical Manufacturers Association (NEMA), USA	日本提案の国際標準原案の作成・編集ならびに承認・普及への貢献	ISOの産業オートメーション分野の国際幹事として長年活躍し、日本提案の国際標準原案の作成、編集および承認、普及へ多大な貢献をした。	6
2009	第6回	貢献賞	森田 賢治	9533466	財団法人 日本自動車 研究所 主任研究員	HEV、重電HEVおよびPHEVの排出ガス・燃費試験方法の策定	電動車両 (HEV、重電HEVおよびPHEV) の排ガス・燃費試験法を研究し、日本独自の技術基準およびISO国際標準の策定に貢献した。	2
2009	第6回	国際功績賞	水町 渉	9012923	独立行政法人 原子力 安全基盤機構 特設参事	世界の原子力発電所の被曝低減と我が国の新検査制度導入への国際活動	ISOEの共同事務局の議長として、原子力発電所の被曝低減に関する標準、規格の改善を促進し、原子力発電所の新検査制度に貢献した。	2
2009	第6回	ロードエンジニア賞	重宗 克彦	会員外	関西電力株式会社 原子 燃料サイクル室 計画グループ マネ ジャー	使用済燃料輸送・貯蔵用金属キャスクの燃料バスケット用新材料の事例規格提案・策定	使用済燃料輸送・貯蔵用金属キャスクの燃料バスケット用新材料の事例規格を日本機械学会発電用設備規格委員会に提案し、策定に貢献した。	1
2010	第7回	貢献賞	前田 節雄	1010499	近畿大学 総合社会学部総合社会学 科 教授	ISO/TC108(機械振動、衝撃と状態監視)ISO4(機械振動、衝撃の人体への影響)での、国際規格のJIS化と学料 教授	ISO/TC108 s04 (機械振動・衝撃の人体への影響) 国内委員会の幹事・委員長を長年務め、ISOのJIS化と整合化に多大な貢献をした。	2
2010	第7回	貢献賞	小山 幸司	0319119	三菱重工業㈱ 神戸造船所 専門主幹	発電用原子力設備規格の策定、改訂と普及活動ならびに規格委員会活動の活性化	発電用設備規格・原子力専門委員会の委員長として原子力設備規格の策定、改訂と普及活動並びに規格委員会活動の活性化に多大な貢献をした。	2
2010	第7回	貢献賞	西口 敏春	7830210	神奈川工科大学 創造工学部 教授	「火力設備配管減内管理技術規格 (JSM ESTB1-2006)」の策定：2006年3月付で発行	発電用設備規格・火力専門委員会の委員長として火力設備規格の策定、改訂と普及活動並びに規格委員会活動の活性化に多大な貢献をした。	4
2010	第7回	国際功績賞	萩原 正弥	8109468	名古屋工業大学 大学院機械工学専攻 准教授	ねじ締付け試験方法に関するISO16407の規格原案を策定、また設計に関する技術レポートのプロジェクトリーダーを務めるなど、ISO/TC2(締結用部品)関連規格の策定、改訂に貢献した。	ねじ締付け試験方法に関するISO16407の規格原案を策定、また設計に関する技術レポートのプロジェクトリーダーを務めるなど、ISO/TC2 (締結用部品) 関連規格の策定、改訂に貢献した。	4
2010	第7回	国際功績賞	松田 三知子	9831678	神奈川工科大学 情報学部 教授	国際標準原案作成における主導活動と国際交流活動での日本の国際地位向上への貢献	ISO/TC184/SC5/WG4(Manufacturing Software and its Environment)のコンピニオとして生産ソフトウェアに関する日本発の国際規格ISO16100シリーズの開発を主導し、多大な貢献をした。	3
2010	第7回	ロードエンジニア賞	藤田 誠治	0813181	三菱重工業㈱ 原子力機器設計部 主 査技師	弾塑性FEM解析を用いた圧力容器設計規格の策定	JSM設計・建設規格の事例規格である「弾塑性有限要素法を用いたクラス1容器に対する強度評価法の代替規定」の規格内容の充ち、設計建設規格の弾塑性解析評価およびその設計評価への落とし込みの部分との整合をとった事例規格の規定内容を具体化するなど規格策定に関して主導的な役割を果たし、貢献した。	3
2011	第8回	貢献賞	清水 伸二	8125341	上智大学 理工学部精密機械工学 科 教授	20年以上に亘る工作機械、ソーリングシステムのJIS規格制定、国際規格制定への貢献	工作機械関連およびソーリング関連のJIS規格原案作成、制定において、長年にわたりリーダーとして多大な貢献をした。さらに同分野の国際標準化にも貢献した。	3
2011	第8回	貢献賞	平岡 弘之	7107483	神奈川工科大学 創造工学部 教授	製品モデル表現の国際規格ISO10303の開発に貢献。特に形状データ品質規格の開発を主導した。	ISO10303-59の策定をほじめとする産業用データ関連の国際標準化において多大な貢献をした。また、ISO10303シリーズのJIS化および普及についても貢献している。	2
2011	第8回	国際功績賞	高木 靖雄	8427670	東京都庁大学 工学部 エネルギー化学科 非常勤講師(元教授)、 工学博士	燃料電池自動車用水素燃料規格に関する国際規格 (ISO14687-2) の策定	ISO/TC197/WG12(水素燃料規格)のコンピニオとしてISO14687-2の開発を主導し、日本が先行する同分野での国際的な産業の確立に貢献した。	1
2011	第8回	ロードエンジニア賞(なし)						1
2012	第9回	貢献賞	荒井 栄司	8201626	大阪大学 大学院工学研究科 教 授	生産システムソフトウェアの国際規格および日本工業規格確立への貢献	ISO10201シリーズおよびISO16100とそのJISの対応規格の開発、制定を導き、生産システムソフトウェアの国際規格および日本工業規格確立に長年貢献した。	3
2012	第9回	貢献賞	稲田 文夫	8310700	電力中央研究所 原子力技術研究所 副 所長	原子力プラント運転・保全における規格基準制定活動	研究活動をベースとして、原子力プラント運転・保全における規格基準制定活動に貢献し、その改正に向けたロードマップの作成と部門横断的分科会活動を通して研究開発活動の推進にも貢献した。	2
2012	第9回	国際功績賞	斎藤 温	会員外	株式会社HDSジャパン 主任技師	U-バブル型HDD(VDR)技術規格の日本発国際標準化達成(ISO/IEC29171を2009/11新規制定)	U-バブル型HDD(VDR)技術規格(ISO/IEC29171(2009/11))の制定に当たり、そのためのコンソーシアムを立ち上げ、国際標準化活動を主導し、日本発の国際標準化の達成に多大な貢献を果たした。	2
2012	第9回	国際功績賞	山田 陽造	9829760	名古屋大学 大学院工学研究科 教 授	サービスロボットの安全性に関する国際安全規格の推進	サービスロボットの安全性に関する安全規格の国際標準化の推進に主導的な役割を果たし、ISO13482の規格化を実現するとともに、その安全規格の重要性の啓蒙活動にも貢献した。	2
2012	第9回	ロードエンジニア賞	樽田 剛名	会員外	三菱重工業株式会社 原動機事業本部 部長	発電用火力設備規格基本規定、詳細規定(非破壊検査、溶接施工法・溶接技術)の策定	2008年度版の基本規程に続いて、2012年度版では、発電用火力設備規格基本規定、詳細規定(非破壊検査、溶接施工法・溶接技術)の策定に主導的な役割を果たし、その普及にも貢献した。	2
2012	第9回	ロードエンジニア賞	米田 公俊	9630849	電力中央研究所 原子力技術研究所 主 任研究員	発電用設備規格「配管減内管理に関する規格(2005年度版)」策定への寄与	発電用設備規格「配管減内管理に関する規格(2005年度版)」策定に寄与するとともに、その改定作業にも貢献中であり、学会発表、講演を通してその普及にも寄与した。	2

一般社団法人日本機械学会
 顕著事業表彰 過去受賞者リスト

2017/6/7現在

受賞年度	受賞回	受賞種別	受賞者名	会員 会員外	所属機関(受賞日付時、変更時)	受賞業績名	受賞理由	応務 件数
2013	第10回	貢献賞	杉村 延広	7417208	大阪府立大学 教授	機構解析モデルおよびアセンブリモデルなどのSTEP規格の開発と普及に関する貢献	CADデータの交換に関する国際標準であるSTEP規格の国内対策委員として、主として機構組立品の設計・解析に必要な機構解析モデル、アセンブリモデルの国際標準化の推進を促し、規格開発、ISO文書の作成などに貢献した。	2
2013	第10回	貢献賞	浅山 泰	会員外	日本原子力研究開発機構 研究主査	高速炉規格の作成と国際標準化活動	2012年版設計・建設規格 第11編 高速炉規格の制定ではJSMCの分科会主査として貢献するとともに、システム化規格など規格体系の根本的高度化対応などについてはJSMCのタスクグループ主査として活動をリードした。	2
2013	第10回	国際功績賞	(推薦なし)					0
2013	第10回	ロードンジニア賞	永田 健也	9047182	日立QEエレクトロニクス エンジニア 株式会社 主幹技師	DDR3規格規格に関するシビアアクセント時の構造健全性評価ガイドラインの策定	福島第一原子力発電所の事故後に喫緊の課題となった原子炉格納容器の健全性確保について、タスク主査としてガイドライン策定に主体的役割を果たすと同時に、原子力専門委員会委員長としてASMEとの連携を図り、同ガイドラインを国際化へ向けたものとした。	1
2014	第11回	貢献賞	宮口 治衛	0710232	株式会社IHI 技監	発電用設備規格全般の策定・整備に関する貢献	発電用設備規格委員会に参画し、発電用設備関連の規格の策定・整備活動に多大な貢献をしている。特に、沸騰水型原子力発電所配管肉内管理に関する技術規格等の制定に主幹者として中核的な役割を果たしている。	2
2014	第11回	国際功績賞	木村 一弘	9814032	物質・材料研究機構 ユニット長	高クロム鋼クランプ強度向上による発電用設備規格改正とASME規格への反映に関する貢献	発電用設備規格委員会火力専門委員会委員長などを務めるとともに、ASME規格基準委員会にも参画し、多大な貢献をしている。特に、高クロム鋼のための寿命評価方法を策定し、この成果が日本電気協会における規格等に反映されている。	4
2014	第11回	国際功績賞	谷 和男	6915100	岐阜大学 名誉教授	ロボット分野における国際規格および日本工業規格の立案・制定に関する貢献	ISO/TC184/SC2および日本産業用ロボット工業会において産業用ロボットの規格化活動に多大な貢献を行っている。特に、ISO 9373:2012、JIS B 0186:2003等、多数のISOおよびJIS規格の制定に貢献している。	4
2014	第11回	ロードンジニア賞	鎌良 健彦	1002090	関西電力株式会社 リーダー	発電用原子炉設備規格「シビアアクセント時の構造健全性評価ガイドライン」の策定への貢献	発電用設備規格委員会傘下のタスクの主査及び幹事として、当該規格の原案策定に多大な貢献をしている。特に、シビアアクセント時の構造健全性評価ガイドライン等の規格の技術根拠の整備、規格原案策定などに貢献している。	1
2015	第12回	貢献賞	塩崎 宏規	7531179	茨城大学 名誉教授	ISO TC108 (振動、衝撃、状態監視) 規程策定及び関連規格のJIS化への貢献	10数年にわたって機械の振動、衝撃と診断に関する国際規格ISO 7010及びISO 7011、ISO 7012の開発に多大な貢献をしている。規格策定には日本代表として国際標準化委員会に参画し、JIS規格の策定にも多大な貢献をしている。また、規格策定活動の推進に多大な貢献をした。	4
2015	第12回	貢献賞	湯原 哲夫	8703505	(一財) 九州電力 設備研究所 理事・研究 主幹	発電用設備規格委員会全般の運営と指導に関する貢献	10数年にわたって発電用設備規格委員会委員や委員長を務め、同委員会に於ける積極的役割を担い、委員会活動の活性化並びに発電用設備規格の策定・整備活動の促進に尽力し、多大な貢献をした。	4
2015	第12回	国際功績賞	坂本 千秋	6507115	信託設計生産工学研究所 代表取締役	機械部品の工程設計からNCR→作成までを一貫して処理する国際規格の開発と普及に関する貢献	10数年にわたって、EC (European Conformity) データモデル等の国際規格を策定し、企業システムやユーザーインターフェースに関する規格策定に多大な貢献をした。また、規格策定活動の推進に多大な貢献をした。	1
2015	第12回	国際功績賞	増山 不二光	9043495	九州工業大学、特任教授	発電用設備規格、特に材料強度に関わる規格の策定・整備に対する貢献	発電用設備規格委員会にASME規格委員会委員として数年にわたり活動を経験され、本会発電用設備規格委員会委員を兼ねるなど、同委員会の発展に多大な貢献をした。	4
2015	第12回	ロードンジニア賞	(受賞者なし)					1
2016	第13回	貢献賞	高田 祥三	8632843	早稲田大学創造理工学 部経営システム工学科 教授	製造自動化に関する参照モデルの開発および機械設備設計に関する標準化の推進	10数年にわたってISO 7014:2015の開発委員、国際代表委員として、製造自動化に関する国際規格の策定に多大な貢献をした。また、規格策定活動の推進に多大な貢献をした。	4
2016	第13回	貢献賞	高橋 由紀夫	7921702	(一財) 電力中央研究所 主査研究員	発電用設備規格全般の策定・整備に対する貢献	1997年の発電用設備規格委員会の発足以来、原子力専門委員会の幹事、核融合専門委員会や材料専門委員会の副委員長、委員長、及び規格委員を歴任する等、発電用設備規格の整備に多大な貢献をした。また、核融合専門委員会での「超伝導マグネット構造規格」、材料専門委員会での「強度感域係数の導入や寿命評価式の規格化」に多大に貢献した。	4
2016	第13回	貢献賞	藤田 正昭	9925304	三菱日立パワーシステムズ (株) ボイラ技術 本部ボイラ技術課 技 監・技師長	発電用火力設備規格全般の策定・整備に対する貢献	火力プラント、特に材料・構造強度に関し豊富な経験と知見を有している。発電用設備規格委員会においても、火力専門委員会構造分科会の副主査を4年、火力専門委員会副委員長、幹事を14年務め、火力発電設備規格の構造設計部分の策定、その後の改訂民間規格詳細編及び規制官庁への技術説明に大きな貢献を果たしている。	4
2016	第13回	貢献賞	森船 一郎	9043495	京都工業繊維大学機械 工学系、教授	歯車に関するISO規格およびJIS規格策定への貢献	ISO/TC60の日本代表委員として負荷容量計算の基本規格 (ISO 6336) 策定作業に大きく寄与するとともに、JIS規格に関しては従来規格委員会の委員長として歯車関係 (JIS B 0121) など多数のJIS規格策定の取りまとめおよびその普及活動を行い、歯車に関する標準の策定および普及に多大に貢献した。	4
2016	第13回	国際功績賞	井原 之敬	9812791	大阪工業大学工学部 機械工学科、教授	5軸マシニングセンタの精度検査に関するISO規格策定および普及への貢献	5軸マシニングセンタの精度検査に関するISO規格開発を推進し、同規格を策定するISO/TC39/SC2/WG3のコーディネータとしてこのISO規格 (ISO 10791) の策定に大きく貢献した。さらに、同ISO規格のJIS原案の作成、工作機械メーカーなどへの説明会の開催など普及活動にも尽力している。	1
2016	第13回	ロードンジニア賞	杉江 保彰	0516345	(一社) 原子力安全推進協会施設運営本 部技術運営部規格、標準 管理グループ 部長	発電用原子炉設備規格の策定・整備に対する貢献	発電用原子炉設備規格、特に溶解規格の制定及び改定において、2005年から11年間にわたり一貫して中心的役割を担い、その貢献は極めて大きなものがある。同氏が担当した溶解規格の改定は15年にわたり、原子力規制庁のエンドースに当たったことも、技術説明の中心的役割を果たし、多大に貢献した。	1